



Press Information

VPR19-069

2019年10月7日(月)

フォルクスワーゲン グループ ジャパン 株式会社

フォルクスワーゲン 新型「T-Cross」ティザーサイトオープン

フォルクスワーゲンの SUV ファミリー“Tシリーズ”
小さい SUV.

フォルクスワーゲン グループ ジャパン 株式会社(代表取締役社長:ティル シェア、本社:愛知県豊橋市、略称:VGJ)は、年内に国内発表を予定しているフォルクスワーゲンの SUV ファミリーの中で最も小さいコンパクト SUV 新型「T-Cross(ティークロス)」ティザーサイトを本日より公開いたしました。また、サイト公開に合わせて全国のフォルクスワーゲン正規ディーラーでは、新型「T-Cross」の特徴を解説するスペシャルリーフレットを配布いたします。

本日オープンしたティザーサイトでは、「T-Cross 最速攻略」と称し、日本導入予定の新型「T-Cross」の特徴が視覚的に分かりやすい構成になっています。また、全国のフォルクスワーゲン正規ディーラー(一部店舗を除く)においても、広げるとA1サイズになるポスタータイプのスペシャルリーフレットを配布し、新型「T-Cross」の魅力をさらに詳しく解説します。表面には新型「T-Cross」の特徴をユニークな比喩を使って分かりやすく紹介しており、裏面はフォルクスワーゲンや新型「T-Cross」を全方位的に解説する用語辞典となっています。

新型「T-Cross」の日本仕様は、導入特別仕様「T-Cross TSI 1st(ファースト)」 「T-Cross TSI 1st Plus(ファーストプラス)」の2つの仕様で導入します。パワートレインは、直列3気筒1.0TSIエンジンを採用。フォルクスワーゲンの生産モジュール方式「MQB」を採用し、このクラスで最小レベルのコンパクトなボディでありながら、広々とした居住性と荷物をふんだんに詰め込める広大なラゲージスペースを両立した、実用性の高さを実現しています。さらに「MQB」によって、以前は上位セグメントのクルマにしか採用されていなかった数多くのドライバーアシスタンスシステムを多数採用することができ、本年5月にはヨーロッパで実施されている自動車安全テスト、ユーロ NCAP(European New Car Assessment Programme:ヨーロッパ新車アセスメントプログラム)において、小型車セグメントに属する新型「T-Cross」は、全てのカテゴリにおいて最高のスコアを獲得し優れた安全性を証明しています。ボディカラーは全部で8種類。ミラーとアルミホイールがアクセントカラーになっている Design Package を採用することで、導入予定の2グレード合計で21種類の内外装の組み合わせの中から好きなモデルをお選びいただけます。



新型「T-Cross」ティザーサイト

<https://sp.volkswagen.co.jp/t-cross>